

羅針塾



社会の幸福感を増大させる
「新しい健康価値」を創造するために
いま未熟なものの真価を見通し
我が国の未来へつなげる「目利き」を育成する

ようこそ



台

「炯眼けいがんの精鋭が集い、社会の健康価値を創造する。」

平成23年 9月 3日(土) 4日(日)
セントレジスホテル大阪

講師陣

宮原秀夫 (コンソーシアム関西会長・元大阪大学総長)

鈴木寛 (文部科学副大臣)

金美齡 (評論家) ほか

■主催/大阪大学臨床医工学融合研究教育センター/臨床医工情報学 コンソーシアム関西
■特別協力/大阪大学医学系研究科医療経済産業政策学講座/大阪商工会議所

不確実な現代社会の羅針盤たる未来の指導者が集う

21世紀に入り新たな時代への期待が高まる中、激動する世界の力学に揺さぶられる不確実な現代社会を反映して、表層的な豊かさとは裏腹に社会の幸福感は低下していると言われて久しい。これまで信じられてきた医療制度や健康価値は揺らぎ、これからの「社会の健康価値」は未だ見つかっていない。不確実な現代社会においては、新たな「価値 (Value)」こそが、社会の幸福感の拠り所になるものである。我々が依って立つ社会は、今、何を求めているのだろうか。その解を模索し、潜在需要に応える「目利き (Evaluation)」の能力を持った羅針塾こそが、今後、求められているヒトやシステムの理想像に違いない。

本講座は、大阪大学の英知を結集し、現代社会の難題に挑む新しい領域横断型教育プログラムである。各専門領域における最先端の研究者とともに議論を交わすことで、不確実な時代を見通す「目利き」たる能力を養うことを目的とする。激論を交わしたものが築く「目利きのネットワーク」こそが、新しいビジネス・新しい学問・新しい社会、そして未来の「価値」を生み出すであろう。

本講座での経験を活かすことで、社会の健康価値を創造し、国民の幸福感 (Well-Being) を増大させる新たな価値を創造することが可能になる。すべての受講者がそれぞれの分野で「指導者の中の指導者」として活躍することを目指してもらいたい。

目的 / 方法

現代社会の「目利き」の育成

社会全体の幸福度を上げる「新しい価値」を創造するために真価を見出し未来を見通す「目利き」を育成する。



議論と現場、実体験型の講義スタイル

現場を踏まえた議論を展開し、議論を臨床現場で実証。専門領域を越えた自由で幅広い研究で社会の難題にアプローチ。



プログラム概略

- 1日目 9月3日 [土]
 - スタートアップ ■問題提起 / 医療疲弊の根源にあるもの
 - 技術論1 / 先端医療が成し遂げたこと ■技術論2 / 先端技術が目指す到達点は
 - パワーセミナー / 生きるや幸福であることを問う
 - 総論1 / 倫理と現実の狭間を眺める ■総論2 / 新たな知見は我々を救うか
 - 総論3 / 臨床と経済のバランスとは ●イブニングセミナー / 異常を尋常で対応する極意 ●交流会
- 2日目 9月4日 [日]
 - 総合討議 / 医療価値 (宝) を再認識するには / 産業フロンティアを創造するには
 - クロージング ●修了証書授与

※時間帯・講師などの詳細は別紙をご覧ください
※テーマは変更になる可能性がありますので、ご了承下さい



金美齢 台湾出身。早稲田大学大学院博士課程修了。英国ケンブリッジ大学研究員、台湾總統府国策顧問。日本国籍取得。JET日本語学校理事長。

会場: セントレジスホテル大阪 大阪市中央区本町3-6-12 tel.06-6258-3333 (代表)

定員: 25名程度

受講料: 35万円 (宿泊費・交流会費含む) ※特例あり

お問い合わせ

■事務局 / 臨床医工情報学 コンソーシアム関西
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 大阪大学中之島センター 8F
tel.06-6444-2144 fax.06-6444-2141
<http://www.rashin-juku.conso-kansai.or.jp/>
E-mail: sanka@conso-kansai.or.jp

会場へのアクセス

- 新幹線「新大阪」駅から
地下鉄御堂筋線「本町」駅下車7番出口直結
- JR「大阪」駅から
地下鉄御堂筋線「梅田」駅より「本町」駅下車7番出口直結
- 地下鉄御堂筋線「なんば」駅から
「本町」駅下車7番出口直結



羅針塾プログラム



●1日目：9月3日（土）

| | | | |
|-----------------------|---------|-----------------------|---|
| 9:00-9:05 (5分) | 開会挨拶 | | 澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） |
| <午前の部> 9:05-12:15 | | | ●モデレーター：澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） 田倉智之（大阪大学大学院医学系研究科・教授） |
| | 問題提起 | 医療疲弊の根源にあるもの | 梅村聡（参議院議員） |
| | 技術論 1 | 医工連携・産学官連携が社会に貢献するために | 田倉智之（大阪大学大学院医学系研究科・教授） 妙中義之（国立循環器病研究センター・研究開発基盤センター長） |
| | 技術論 2 | 生命科学でイノベーションの方向を探る | 柳田敏雄（大阪大学大学院生命機能研究科・特任教授） |
| 12:15-13:00 (45分) | お昼休憩 | | |
| 13:00-14:00 (60分) | パネルセミナー | 生きるや幸福であることを問う | 金美齡（評論家） |
| <午後の部> 14:10-18:05 | | | ●モデレーター：澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） 田倉智之（大阪大学大学院医学系研究科・教授） 金美齡（評論家）* |
| | 総論 1 | 倫理と現実の狭間を眺めると | 澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） 宮田俊男（厚生労働省医政局研究開発振興課 高度医療専門官 治験推進室長補佐） |
| | 総論 2 | 新たな知見を社会に結実させるために | 片岡一則（東京大学大学院工学系研究科・教授） 吉川秀樹（大阪大学大学院医学系研究科・教授） |
| | コヒアブレク | | |
| | 総論 3 | 臨床と経済のバランスとは | 田倉智之（大阪大学大学院医学系研究科・教授） 澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） |
| 18:15-19:15 (60分) | パネルセミナー | 災害医療と救急医療：日常と非日常の分かれ目 | 嶋津岳士（大阪大学大学院医学系研究科・教授） |
| 19:20-20:40 (80分) | 交流会 | | |

※総論1および2のみ

●2日目：9月4日（日）

| | | | |
|----------------------|----------------|------------------------------------|---|
| | | | ●モデレーター：澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） 田倉智之（大阪大学大学院医学系研究科・教授） |
| 9:00-11:30 (150分) | 総合討議1 総合討議2 | 医療フロンティアを創出するには 創造型人材である目利きの育成は | 鈴木寛（文部科学副大臣） 中村祐輔（東京大学医学研究所・教授） 宮原秀夫（臨床医工情報学コンソーシアム関西・会長） 澤芳樹（大阪大学臨床医工学融合研究教育センター・センター長） |
| 11:30-11:50 (20分) | 修了証書授与 | | |
| 11:50-12:00 (10分) | 閉会挨拶 | | 宮原秀夫（臨床医工情報学コンソーシアム関西・会長） |

タイトルは変更の可能性があります。

問い合わせ先：一般社団法人 臨床医工情報学コンソーシアム関西
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53
大阪大学中之島センター8F
sanka@conso-kansai.or.jp
TEL: 06-6444-2144 FAX: 06-6444-2141